

# ゆり組だより1月号

平成30年1月19日 こひり保育園 担当 宮本(京)



新年を迎え、ゆり組での生活も残り少なくなってきました。

さて先日"おもちつき会"をしました。朝から「今日はおもちつき会だね」と楽しみにしていた子ども達。会が始まると、「もち米はまっ白だよ」と話し、保育者が餅をつく様子を見て「はいよ」と大きな掛け声で応援していました。そしてつきたての餅を食べると「あじく美味しい」と言って笑顔が見られ「まっ白たがおちあつた」と喜んでいました。

ゆり組がつく番になると、「おいしい顔」が「頑張り子」といった表情に変化し、一人ひとりが保育者と杵を持ちか強く餅をつきました。

自分達のついた餅を見た子ども達は、目を光輝かせ「美味しそうに出来ているね」「また食べたいね」と言いながらもち米をつくと餅になる不思議を感じていました。これからも伝統の行事を大切にし、たくさんの経験もさせてあげたいと思います。

また、12月が就学への準備を始まりました。

テーブルを小学校の教室と同じ全員前向きにし2人席にしたリ、かけ算や卒園文集などに取り組む、増々「小学生になるんだ」という気持ちが強くなってきています。

残りの日々ピカピカの1年生に向け、成長していけるよう保育をしていきたいと思っています。

